

2024年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年6月10日

上場会社名 株式会社 システム デイ
コード番号 3804 URL <https://www.systemd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堂山 遼
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 藤原 照也
四半期報告書提出予定日 2024年6月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
TEL 075-256-7777

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第2四半期の連結業績(2023年11月1日～2024年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	2,386	1.7	512	7.0	513	6.9	342	9.1
2023年10月期第2四半期	2,428	5.8	551	18.4	551	18.4	376	14.0

(注) 包括利益 2024年10月期第2四半期 343百万円 (9.3%) 2023年10月期第2四半期 378百万円 (14.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	53.48	
2023年10月期第2四半期	58.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期第2四半期	6,714	4,297	64.0	670.53
2023年10月期	6,245	4,093	65.5	639.33

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 4,297百万円 2023年10月期 4,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年10月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期		0.00		23.00	23.00
2024年10月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,886	3.2	940	2.9	938	2.6	633	0.1	97.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年10月期2Q	6,498,000 株	2023年10月期	6,498,000 株
期末自己株式数	2024年10月期2Q	89,129 株	2023年10月期	95,260 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年10月期2Q	6,404,424 株	2023年10月期2Q	6,402,740 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは業種・業務に特化したパッケージソフトを核とした付加価値の高いソリューションを顧客に提供しており、子会社を含めた6つの業種・業務を対象に事業を展開しております。その対象とする市場に向けて、新規及び追加のシステム提案によるフロービジネスを拡げるとともに、サポート及びクラウドサービス提供による安定的なストックビジネスを展開しており、中でも近年は需要が高まっているクラウドサービスの拡大に力を入れております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、仕入商品売上が大きく減少したため売上が計画に届かず、利益も若干ながら計画を下回ったものの、本業である自社開発パッケージソフトの販売が順調に進展しました。その結果、累計ユーザー数が10,000を突破いたしました。さらに多くのユーザーを獲得できるよう、現状に満足することなくパッケージソフトの成長を加速させてまいります。

学園ソリューション事業におきましては、業界トップシェアの『キャンパスプラン.NET Framework』及び『キャンパスプラン for Azure』（クラウドサービス）の販売、ならびに次世代学園総合情報システム『CampusPlan Smart』の客先への導入も計画通り進めることができました。特に『CampusPlan Smart』につきましては、当四半期連結累計期間も導入・稼働を進めるとともに、新規受注案件も増加しており、今後もさらに導入校数を拡大するべく営業展開を図ってまいります。

スポーツ・健康関連施設向け会員・会費管理システム『Hello EX』、文化観光施設向け運営支援システム『Hello Fun』等を展開しているウェルネスソリューション事業におきましては、新規出店が相次ぐ24時間ジムやゴルフスクール等の小規模フィットネス施設、会費制スクール等に対してクラウド型会員管理・会費回収システム『Smart Hello』を、当四半期連結累計期間も引き続き多くのユーザーへ納品することができました。公共博物館施設や民間テーマパーク向けクラウド型チケット管理システム『Smart Hello チケット』につきましては、客先都合による時期ズレ等がありましたが、受注案件は増加しており、下期以降に巻き返すべく積極的な営業活動を進めております。

公立小中高校向け校務支援システム『School Engine』を提供している公教育ソリューション事業におきましては、当社がトップシェアを占める都道府県向け公立高校、複数の大規模自治体を含んだ多くの公立小・中学校にサービス提供を行っております。当四半期連結累計期間におきましても、オンライン出願システムを順調に稼働させることができたとともに、2024年4月本稼働の複数の県域大型案件の稼働立ち上げも行う等、今後に繋がる実績を積み上げる事ができました。当四半期以降も、引き続き案件獲得に向けた営業活動を行ってまいります。

公共団体向けの公会計ソリューション事業におきましては、公会計のデファクトスタンダードとなった『PPP(トリプル・ピー) Ver.5 新統一基準対応版』が、全国の自治体の過半数を超える圧倒的なシェアを占めており、当四半期連結累計期間も安定したストック収入を計上いたしました。また、公会計の先進的な考え方を取り入れた地方公共団体向け『Common財務会計システム』に加え、地方公共団体向けに財産管理業務を支援するパッケージソフトである『公有財産管理システム』の導入と、さらなる案件獲得に向けた営業・開発活動も積極的に進めました。

民間企業や学校法人をはじめ幅広い市場に向けて、コンプライアンス、ガバナンス支援ソフトとして『規程管理システム』及び『契約書作成・管理システム』を提供しているソフトエンジニアリング事業におきましては、高機能かつコストパフォーマンスに優れたこれらのソフトが市場で高い評価を受けて毎期業績を伸ばしております。当四半期連結累計期間におきましても、大規模ユーザーや企業グループを含んだ多くの民間企業や学校法人等へ当ソリューションの導入を進めることができました。

保険薬局向け事業を営んでいる株式会社シンクにおきましては、引き続き保守サポート収入を安定的に確保するとともに、医療扶助のオンライン資格確認に関するオプション販売も進めることができました。

AIを活用したソフトウェアの受託開発、コンサルティングを行っている中村牧場株式会社におきましては引き続き大企業向けも含めたAI人材育成やコンサルティングを手掛けるとともに、当社のAI人材育成や、自社パッケージソフトへのAI機能を実装すべく開発を進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,386,240千円（前年同期比1.7%減）、営業利益512,749千円（前年同期比7.0%減）、経常利益513,190千円（前年同期比6.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益342,490千円（前年同期比9.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて468,923千円増加して6,714,546千円となりました。主な要因は、売上債権の回収及び前受収益の受領により現金及び預金が892,897千円増加、パッケージのリリースによりソフトウェアが266,023千円増加したことに対して、代金回収により受取手形、売掛金及び契約資産が285,182千円減少、案件の納品により棚卸資産が63,457千円減少、償却により建物及び構築物が13,929千円、のれんが12,412千円それぞれ減少、パッケージのリリースによりソフトウェア仮勘定が287,014千円減少、

繰延税金資産が30,451千円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて265,062千円増加して2,417,193千円となりました。主な要因は、前受収益が525,372千円増加、賞与引当金が73,095千円増加、退職給付に係る負債が11,183千円増加したことに対して、支払手形及び買掛金が44,806千円減少、未払法人税等が27,355千円減少、その他流動負債に含まれる未払費用が134,024千円減少、借入金返済により長期借入金が59,994千円減少、役員退職慰労引当金が29,967千円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて203,860千円増加して、4,297,353千円となりました。主な要因は、利益剰余金が198,832千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、前連結会計年度末に比べて892,897千円増加して2,080,379千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

法人税等の支払額152,627千円、役員退職慰労引当金の減少額29,967千円、仕入債務の減少額38,918千円、未払金の減少額47,394千円等による資金の減少に対して、税金等調整前四半期純利益497,839千円、ソフトウェア償却費211,280千円、売上債権の減少額810,554千円等による資金の増加により、資金が1,304,757千円増加(前年同四半期は440,145千円の資金増加)しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

ソフトウェアの取得による支出195,835千円等により、資金が205,189千円減少(前年同四半期は250,299千円の資金減少)しました

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出59,994千円、配当金の支払額146,676千円により、資金が206,670千円減少(前年同四半期は195,736千円の資金減少)しました

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の業績予想につきましては、2023年12月11日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,187,481	2,080,379
受取手形、売掛金及び契約資産	899,880	614,698
棚卸資産	90,172	26,715
その他	37,140	35,687
貸倒引当金	△1,907	△1,338
流動資産合計	2,212,767	2,756,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	350,455	336,525
土地	1,625,952	1,625,952
その他(純額)	20,909	22,014
有形固定資産合計	1,997,316	1,984,492
無形固定資産		
のれん	198,132	185,720
ソフトウェア	615,386	881,410
ソフトウェア仮勘定	584,525	297,510
無形固定資産合計	1,398,044	1,364,640
投資その他の資産		
投資有価証券	37,775	39,474
繰延税金資産	151,288	120,837
保険積立金	348,155	349,520
破産更生債権等	870	916
その他	100,719	99,946
貸倒引当金	△1,314	△1,424
投資その他の資産合計	637,494	609,271
固定資産合計	4,032,855	3,958,404
資産合計	6,245,623	6,714,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	191,850	147,044
1年内返済予定の長期借入金	119,988	119,988
前受収益	643,159	1,168,531
未払法人税等	167,481	140,126
賞与引当金	—	73,095
その他	394,028	180,555
流動負債合計	1,516,507	1,829,340
固定負債		
長期借入金	313,362	253,368
役員退職慰労引当金	29,967	—
退職給付に係る負債	276,574	287,758
その他	15,719	46,726
固定負債合計	635,623	587,852
負債合計	2,152,130	2,417,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,260	484,260
資本剰余金	619,313	619,313
利益剰余金	3,125,741	3,319,574
自己株式	△143,983	△134,716
株主資本合計	4,085,331	4,288,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,160	8,921
その他の包括利益累計額合計	8,160	8,921
純資産合計	4,093,492	4,297,353
負債純資産合計	6,245,623	6,714,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	2,428,071	2,386,240
売上原価	1,352,565	1,311,771
売上総利益	1,075,505	1,074,469
販売費及び一般管理費	524,414	561,720
営業利益	551,091	512,749
営業外収益		
受取利息及び配当金	362	508
未払配当金除斥益	306	398
受取手数料	327	309
その他	504	81
営業外収益合計	1,501	1,297
営業外費用		
支払利息	1,073	855
その他	31	0
営業外費用合計	1,104	856
経常利益	551,488	513,190
特別損失		
役員退職慰労金	—	15,351
特別損失合計	—	15,351
税金等調整前四半期純利益	551,488	497,839
法人税、住民税及び事業税	137,667	125,232
法人税等調整額	37,156	30,116
法人税等合計	174,824	155,348
四半期純利益	376,663	342,490
親会社株主に帰属する四半期純利益	376,663	342,490

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	376,663	342,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,934	760
その他の包括利益合計	1,934	760
四半期包括利益	378,597	343,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	378,597	343,251
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	551,488	497,839
減価償却費	13,971	20,850
ソフトウェア償却費	220,216	211,280
のれん償却額	6,102	12,412
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	172	△459
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16,808	11,183
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,641	△29,967
受取利息及び受取配当金	△362	△508
支払利息	1,073	855
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,339	810,554
棚卸資産の増減額 (△は増加)	6,161	63,457
仕入債務の増減額 (△は減少)	25,950	△38,918
未払金の増減額 (△は減少)	△36,393	△47,394
その他	△178,714	△53,459
小計	622,776	1,457,726
利息及び配当金の受取額	362	508
利息の支払額	△1,077	△849
法人税等の支払額	△181,916	△152,627
営業活動によるキャッシュ・フロー	440,145	1,304,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110,633	△8,081
ソフトウェアの取得による支出	△137,350	△195,835
投資有価証券の取得による支出	△601	△603
長期貸付金の回収による収入	—	750
その他	△1,713	△1,418
投資活動によるキャッシュ・フロー	△250,299	△205,189
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△68,364	△59,994
配当金の支払額	△127,372	△146,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,736	△206,670
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,891	892,897
現金及び現金同等物の期首残高	1,225,450	1,187,481
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,219,559	2,080,379

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ソフトウェア 事業				
売上高					
フロー収益(注4)	1,248,452	11,993	1,260,446	—	1,260,446
ストック収益(注4)	1,167,624	—	1,167,624	—	1,167,624
外部顧客への売上高	2,416,077	11,993	2,428,071	—	2,428,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,500	1,500	△1,500	—
計	2,416,077	13,493	2,429,571	△1,500	2,428,071
セグメント利益	708,571	7,599	716,170	△165,079	551,091

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種広報宣伝の企画・制作、テナント賃貸等の業務を行っております。

2. セグメント利益の調整額△165,079千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. フロー収益とは、ライセンス(使用許諾権)料、カスタマイズ、導入支援(インストラクト、データコンバート等)、ソフト導入に関連するハード機器・他社商材の販売による収益のことをいい、納品・検収時に一括売上計上されます。

ストック収益とは、システム運用サポートサービス、クラウドサービス提供によるランニング収益のことをいい、サービス提供期間に応じて売上計上されます。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ソフトウェア 事業				
売上高					
フロー収益(注4)	1,043,368	119,576	1,162,945	—	1,162,945
ストック収益(注4)	1,223,295	—	1,223,295	—	1,223,295
外部顧客への売上高	2,266,664	119,576	2,386,240	—	2,386,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	8,700	8,700	△8,700	—
計	2,266,664	128,276	2,394,940	△8,700	2,386,240
セグメント利益	681,755	21,885	703,640	△190,891	512,749

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種広報宣伝の企画・制作、テナント賃貸、コンサルティング等の業務を行っております。
2. セグメント利益の調整額△190,891千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. フロー収益とは、ライセンス(使用許諾権)料、カスタマイズ、導入支援(インストラクト、データコンバート等)、ソフト導入に関連するハード機器・他社商材の販売による収益のことをいい、納品・検収時に一括売上計上されます。
- ストック収益とは、システム運用サポートサービス、クラウドサービス提供によるランニング収益のことをいい、サービス提供期間に応じて売上計上されます。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。